令和6年1月11日 第1回農業委員会議事録

1. 開催日時 令和6年1月11日（木）

開会時刻：9時55分 閉会時刻：10時34分

2. 早島町役場 2階第一会議室

3. 出席委員

1番 増田 利之

2番 安原 輝夫

3番 佐藤 周二

4番 林 正

5番 栗坂 一郎

6番 眞鍋 和崇

7番 佐藤 一義

8番 日笠 太（職務代理）

9番 原 勝

推進委員 水畑 徳子

推進委員 齊藤 啓子

4. 欠席委員

10番 澤田 晃始（会長）

5. 傍聴人数

なし

6. 議事日程

議案第1号 早島農業振興地域整備計画見直し協議会委員の推薦について

議案第2号 基盤強化法附則第5条第1項の規定による農用地利用集積計画の決定
について

議案第3号 農地法第5条の規定による許可申請について

報告第1号 農地法第18条第6項の規定による通知について

7. 農業委員会事務局員

事務局長 安原 隆治

書記 上化田 圭一

書記 杉本 和也

書記 廣畑 卓也

事務局長（安原 隆治君）

おはようございます。本日は新年最初の農業委員会でございます。会議の開催に先立ち、町長の佐藤より新年のご挨拶を申し上げます。

町長（佐藤 博文君）

新年、あけましておめでとうございます。

昨年中、農業委員会の皆様方には、早島町の農業振興並びに町政全般に渡り、ご支援、ご協力いただきまして、誠にありがとうございます。この場をお借りして熱く御礼を申し上げます。

さて、長期化しておりました新型コロナウイルス感染症も、昨年5月をもって「5類感染症」へ移行となり、人々の日常生活、社会経済活動も以前のように活気を取り戻しつつあります。農産物の需要も回復傾向にはありますが、天候や世界情勢、さらには円安の影響を受けた生産資材や燃料等の価格高騰により、厳しい農業経営情勢であります。

本町におきましては、肥料価格高騰の影響を受けた農家の方に対する支援とし、肥料価格高騰対策支援金の交付事業を実施いたしました。農業委員会の皆様方に置かれましては、周辺農家の方々への広報活動にご尽力いただきましたこと、大変感謝しております。

また、依然として経営が圧迫されている農家の方々への更なる支援策としまして、動力光熱費に対する支援金交付事業を実施させていただきます。支援金の内容につきましては今月末に発行されます広報はやしま2月号に掲載する予定でございます。先の肥料価格高騰対策支援金と同様に、農業委員会の皆様には、周辺農家への広報活動にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

また、駅の南側の農道ですが、昨年末より水路整備を始めております。農繁期を外して工事を進めて行こうと思っておりますので、皆様方のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくようお願い申し上げます。

結びに、農業委員会の皆様方にとりまして、幸多き素晴らしい年になりますことを心からお祈り申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。皆様、本年もどうぞよろしくお願いたします。

事務局長（安原 隆治君）

ありがとうございました。申し訳ありませんが、公務により町長はここで退室させていただきます。

【町長退室】

事務局長（安原 隆治君）

引き続き、農業委員会に入らせていただきます。

ただいまから令和6年第1回早島町農業委員会を開会いたします。

はじめに会議の成立についてご報告いたします。本日は出席委員9名、欠席委員1名でございます。農業委員会等に関する法律第27条により、在任委員の過半数の方がご出席しておりますので、本日の会議は成立しておりますことをご報告いたします。

なお、本日は澤田会長が欠席となっておりますので、早島町農業委員会会議規則第16条に基づき、以降の議事進行につきましては日笠職務代理によりしくお願いいたします。

議長（日笠 太君）

皆様今年もよろしく申し上げます。

これより議事に入ります。まず議事録署名委員の指名を行います。私の方で指名してよろしいでしょうか。

【異議なしの声あり】

議長（日笠 太君）

それでは、議事録署名委員は、2番の安原 輝夫委員、3番の佐藤 周二委員にお願いします。

【両委員了承】

議長（日笠 太君）

それでは、日程1の議案第1号 早島農業振興地域整備計画見直し協議会委員の推薦についてを議題といたします。

事務局、説明してください。

事務局（廣畑 卓也君）

議案書2ページをご覧ください。早島農業振興地域整備計画見直し協議会委員の推薦について、町長から農業委員会に対し委員の推薦依頼がありました。前回の委員会でもご連絡いたしました。早島町では農業振興地域整備計画改定業務に着手しております。今後、町で作成する計画の改定案について、ご意見・ご提案をいただく協議会の委員として、農業委員会からは1名ご推薦いただく必要がございますので、推薦委員についてご審議願います。説明は以上です。

議長（日笠 太君）

ありがとうございました。ただいま事務局から説明がありましたが、本委員会からの推薦委員について、佐藤 周二委員は農業行政の職歴があり、また本委員会の推薦で早島町都市計画審議会委員を長年務められております。

この度の協議会においても、これまでのご経験が発揮されることが期待されることから、本委員会からは佐藤 周二委員を推薦することが妥当と考えますが、いかがでしょうか。

【異議なしの声】

議長（日笠 太君）

異議ないようでありますので、議案第1号については3番の佐藤 周二委員を推薦することと決定されました。

3番（佐藤 周二君）

早島町農業振興のために、また農業委員会を代表して懸命に努めたいと思います。

議長（日笠 太君）

続きまして、日程2の議案第2号 基盤強化法附則第5条第1項の規定による農用地利用集積計画の決定についてを議題といたします。

事務局、説明してください。

事務局（廣畑 卓也君）

議案第2号を説明するにあたり、関連する案件である報告第1号 農地法第18条第6項の規定による通知についてを先に説明させていただきます。

議案書9ページをご覧ください。農地の所在は早島字尾越●●●●番●、地目が田、面積が1, 743㎡です。貸付人は早島町早島●●●●番地●にお住いの●● ●●さん、借受人は早島町早島●●●●番地にお住いの故 ●● ●● 様の相続人代表の●● ●●さんです。解約申入日、解約成立日は令和5年12月18日、土地引渡日は令和6年1月31日、解約通知日は令和5年12月18日となっております。位置図は5ページです。本案件は農地法が施行される前から締結されていた、いわゆる期間の定めのない小作権です。小作権は土地所有者、耕作者が亡くなられてもその相続人に相続されます。現在の貸付人である●●さんから期間の定めのある賃貸借権に切り替えたいと相談があったため、今月末で一度現在の小作権を解約するものとなっております。

議案書4ページへお戻りください。議案第2号については、解約後の農地について基盤強化法附則第5条第1項の規定による賃貸借権を設定するものとなっております。権利の期間は令和6年2月1日から令和12年1月31日までです。説明は以上です。

議長（日笠 太君）

ただいまの説明に関して現地確認の結果を1番 増田 利之委員からよろしくお

願います。

1 番（増田 利之君）

1 月 9 日に現地確認を行いました。場所は●●●と●●●●の谷間で 50 戸連たんで開発されている地域の南側手になります。この度合意解約されますが、引き続き再度合意された田で、今までも毎年耕作されており、現況は耕うんされて特に問題ないと思います。以上です。

議長（日笠 太君）

ありがとうございました。これより質疑に入ります。何か質疑がありませんか。

【質疑応答なし】

議長（日笠 太君）

その他、ご意見等ありませんか。

【質問、意見なし】

議長（日笠 太君）

ないようでありますので、議案第 2 号・番号 1 については承認したいと思います。いかがでしょうか。

7 番（佐藤 一義君）

ちょっと教えてもらいたいのだが、最近の小作料はどれくらいなのか。それと固定資産税はどれくらいなのか。

事務局（廣畑 卓也君）

小作料について回答させていただきます。近年この委員会でご審議いただくことも多いですが、いわゆる使用貸借、小作料を求めない契約が増えており、それが主流になってきています。あつたとしても 1 反あたり玄米 30 kg を設定されるというケースが多いのではないかと考えております。今回に関してはこの筆に対して 1 平米 10 円の小作料が過去から設定されており、それを引き継ぐものとなっております。これは他所と比較しても高い水準で設定しているのではないかと思います。

固定資産税の計算については私も詳しくはありませんが、地区ごとに基準となる農地があり、その平米当たりの単価を出して、それが固定資産税の評価額になっているというのは税務課で聞いたことがあり、ここがいくらかというのは回答できません。

4番（林 正君）

今は使用料を出してまで作らない人がほとんどです。農協の田植えサポートだと、一反1万5千円出さないとしてくれない。1反未満の田んぼは対象外で、変形の田んぼもしてくれない。昔とは違う。使用料ゼロだったら最高の条件です。だから畦を管理とか全部してくれるのならタダで作らましようとか、ちょっと出しましようとか。畦まで管理するのなら管理費を出せと言って、知り合いなんかはお金をもらって作っている。時代が変わっている。昭和の時代じゃない。昔のまま農業をしていたら駄目なんです。

7番（佐藤 一義君）

ちなみに17,430円というのは●●さんが●●さんに作ってもらうのに出しているのか。

事務局（廣畑 卓也君）

それは、●●さんが●●さんに年間で支払うものです。土地利用料です。

4番（林 正君）

借りる人が費用を払っても貸して欲しいという土地は利用料を出したりしている。私が借りているものだと1反3俵です。親の代からそうなっている。極端に言えば3俵で自分のものと同じようなもので契約書もない。それで借りているということになっている。だから返せといわれても使用料を払っている以上は向こうが返せとも言えないし、契約書がないので。年配の人は貸したら土地を取られるという考えがあり、それが残っている田んぼが点々とある。今利用権とかが出来て、期間が来たら返すようになっているが、利用権もない小作権契約書もないと言ったらお互いが話し合うしかない。返さないと言ったらそれまでだから。時代が変わってきている。

議長（日笠 太君）

今の林君の話だが、いい人に貸した場合はすんなり返してくれるが、言葉は悪いかもしれないが悪い人に貸したら返してもらえないかもしれない。

4番（林 正君）

だから利用権を設定するとか、中間管理機構を通してするとか契約期間をきちんとして、期限が来たらその後、返すのか継続して作るのかということになってきている。

7番（佐藤 一義君）

7、8年前だったら無償が6割で、1反で1俵という基準があったが今は何%なのか。

事務局（廣畑 卓也君）

今現在の状況を集計できていないのでこの場ではお答えできません。

4番（林 正君）

今は作る人、出す人のお互いの話し合いでいくらにするか決めている。気が利く人は前の高い金額でしていたが、私が作っている田んぼでも、半分でもいいから頼みますと言うこともある。ゼロが基準ではない。知人は一反2万円です。しないなら畦の管理は地主でしてください、田んぼは私が借りますという。畦までみるなら管理費がいるから2万円要ると言っても出す人もいる。農協が1反1万5千円です。だから各自で決めているので何%というのは分からない。私が1反1万円です。ということもあるが、そういう人は米を買ってくれる。お互いが気に入らなければ作らなければいいし、出さなければいい。農協で作業委託をしているのは、ほとんど期限が切れていて、そのまま放っている。全面委託するのだったら利用権にしてみようにも、農協の窓口がなかなかしない。出している人はずっとしてくれるものだと思って何も言わない。

議長（日笠 太君）

一応農協にも3年、6年と期限があるが、3年なんてすぐ忘れてしまって気づいたら6年が来ていたりする。

4番（林 正君）

利用権を設定していれば期限がいつまでかとわかるが、農協も全面委託だからどこまで委託なのか、田んぼの中だけ、畦も一緒にというなら畦の管理料をくれないと後の委託はできないとか、色々問題が起きる。耕作したい田んぼとしたくない田んぼがある。早島は圃場が悪い。

2番（安原 輝夫君）

田んぼを作ってもらおうとなると、お金を出して作ってもらおうような時代が来ている。

議長（日笠 太君）

もうすぐそこに来ている。

その他、ご意見等ありませんか。

【質問、意見なし】

議長（日笠 太君）

ないようでありますので、議案第2号・番号1は承認されました。

続きまして、日程3の議案第3号 農地法第5条の規定による許可申請についてを

● ●●さん、借受人は●● ●●さんで、転用目的および申請事由は番号5と同様です。位置図は8ページです。

なお、本申請は別申請中の開発許可申請と同日付で許可となりますことを申し添えます。説明は以上です。

議長（日笠 太君）

ただいまの説明に関して現地確認の結果を3番 佐藤 周二委員からよろしくお願ひします。

3番（佐藤 周二君）

1月9日に事務局担当官と現地確認を行いました。場所は●●●●●から400～500mほど行った、拾壱ノ割の一角です。50戸連たんによる農地転用案件で、8ページの図の黒塗りの2カ所は、所定の手続きを経て転用されて家が建っている状況です。今回はそれらに続き、新たに2カ所の転用許可を求める案件であります。北に1枚田んぼがあり、大きな影響はないと考えられるので、やむを得ないところと思います。以上です。

議長（日笠 太君）

ありがとうございました。これより質疑に入ります。何か質疑がありませんか。

3番（佐藤 周二君）

申請番号の4番と6番、使用貸借権の設定ですが、申請事由には家を建てるとあるが、実際は出入りの連絡道路が直接の事由になりますか。

事務局（廣畑 卓也君）

その通りです。

議長（日笠 太君）

その他、ご意見等ありませんか。

【質問、意見なし】

議長（日笠 太君）

ないようでありますので、議案第3号・番号3から6については許可相当としたいと思います。いかがでしょうか。

【異議なしの声】

議長（日笠 太君）

ないようでありますので、議案第3号・番号3から6については許可相当と決定されました。

ここで安原委員の入室を認めます。

【安原委員入室】

議長（日笠 太君）

それではその他について、事務局から説明をお願いします。

事務局（廣畑 卓也君）

議案書10ページをご覧ください。次回の農業委員会は2月13日火曜日、10時からを予定しております。場所は2階の第一会議室です。また議案書を送付いたしますのでご確認ください。以上でその他の報告事項を終わります。

議長（日笠 太君）

以上で、本日の議案は全て終了しました。

令和6年第1回早島町農業委員会を閉会いたします。